

2026 年 6 月 16 日
Stellantis ジャパン株式会社

シトロエン 「リカバリードライブ」 キャンペーンを実施 移動手段を超え、人と人の時間に寄り添う取り組みを展開



- 新型「C5 Aircross」がもたらす快適性による移動の疲れにくさと、乗る人同士の時間を取り戻す「リカバリードライブ」
- 日々のコミュニケーションのあり方に着目し、移動時間も、日常でもより心地よい関係であるための行動を提案する「ふたり時間レベル診断」を開発



Stellantis ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：成田 仁）は、2026 年 4 月に発売した、シトロエンのフラッグシップモデル「C5 Aircross（シー ファイブ エアクロス）」が提供する快適な移動体験と、乗る人同士がより心地よい関係性であることを目指す「リカバリードライブ」キャンペーンを実施しています。

すべての人のためのコンフォートという考え方

シトロエンはこれまで、“コンフォート”をブランドの重要な価値として追求してきました。そのコンセプトは、運転のしやすさに加えて、クルマに乗るすべての人にとっての快適さを意味しています。運転者だけでなく、同乗者も含めた全員が自然体で過ごせること。そしてその時間そのものが、人生を楽しむひとときとなること。それがシトロエンの考える“コンフォート”です。

ライフステージに応じたモデル提案

たとえば家族やペットがいたり、趣味のアイテムが多い場合には「BERLINGO (ベルランゴ)」を、さらに多人数での移動や大きな荷物があるケースは、7人乗りの「BERLINGO LONG (ベルランゴ ロング)」が支えます。またご自宅や周辺道路のサイズに制約があったり、セカンドカーのニーズがある場合には、C3 (シー スリー) シリーズが適役でしょう。シトロエンは様々なライフスタイルとライフステージに寄り添うモデルを展開していますが、それら全てのモデルで、乗る人すべてが快適であることは一貫しています。

さて実際の暮らしでは、ライフステージの変化とともに、日常で共に過ごす相手や時間の使い方は少しずつ変化し、それは車選びにも大きく影響する部分です。移動人数の変化、特にその人数が減る場合は、過ごす時間の“質”がより重要になっていくことを意味します。短い移動でも、じっくりと会話を楽しむ時間が増えたり、目的地に向かうプロセス自体が大切になったりと、移動はより濃密な環境へと変化します。

そうした中で今回、シトロエンは少人数で過ごす時間を改めて見つめ直し、その代表的なトピックとして、“ふたりで過ごす時間”に着目しました。

“ふたり時間”を見つめ直す取り組み

日常の中で、ふたりの関係や過ごし方は変化していくものです。その時間をより良くするためには、まず現在の状態を知ることが重要であるという考えから、専門家の監修のもと、「ふたり時間レベル診断」を開発しました。

RECOVERY DRIVE CHECK
「ふたり時間レベル診断」



より有意義な夫婦時間を過ごすための「ふたり時間レベル診断」。
専門家(大美賀直子氏)監修の15の質問で、共有時間の質や横並びコミュニケーション度を
測定。5つのタイプから、今のあなたたちにぴったりの過ごし方をご提案します。

この診断により、それぞれの関係性や時間の使い方に応じて、より快適に過ごすためのヒントを得ることができます。乗り心地などの機能的な快適さを提供するだけでなく、情緒的な面でも心地よい環境を提供することを目指しています。

“横並び”という視点

診断を監修した専門家によると、ふたりの時間を心地よくする要素のひとつとして、“横並びの位置関係”が挙げられています。同じ方向を向きながら時間を共有することで、自然な会話や適度な距離感が生まれ、無理のないコミュニケーションにつながるとされています。

こうした観点から見ると、ドライブは横並びの関係性を自然に生み出す時間のひとつといえます。「C5 AIRCROSS」では、フラットに構成されたダッシュボードや空間設計により、運転席と助手席の間に違和感が生まれにくく、会話が続きやすい環境が整えられています。

「リカバリードライブ」を実現する「C5 AIRCROSS」

車内でゆったりと会話を楽しむことができる。これは、忙しい日常から“ふたり時間”をリカバリーすることに他なりません。さらに「C5 AIRCROSS」は、路面からの振動を抑えるサスペンションや、身体を支えながら体圧を分散するシートなどにより、長時間の移動でも疲れを感じにくい乗り心地を実現しています。これら2つの意味での“リカバリー”をもたらす移動体験を、シトロエンでは「リカバリードライブ」と名付けました。

シトロエンのフラッグシップ SUV である「C5 AIRCROSS」は、身体的・精神的、そして直感的な快適さを提供する Advanced Comfort（アドバンストコンフォート）の頂上に位置します。ドライバーだけでなく、同乗する人々すべてが心地よく、自然体で過ごせる空間をつくり出します。

走行の快適性

48V マイルドハイブリッドシステムにより、発進や市街地走行は滑らかに。市街地では最大50%の時間で電動走行が可能で、静粛性の高い穏やかなドライビングフィールを実現しています。さらに、シトロエン独自のダンパーである PHC（プログレッシブ・ハイドロリック・クッション）を標準装備。路面からの衝撃をしなやかに吸収し、“魔法の絨毯”のような乗り心地を提供します。

室内空間の快適性

シトロエン初採用となる STLA-Medium（ステラ ミディアム）プラットフォームにより、室内空間はさらに拡大。後席レッグスペースは+50mm、頭上スペースは+68mm を確保し、ゆとりのある居住性を実現しました。

広々とした空間は、身体だけでなく、気持ちにも余白を生み出します。

MAX グレードでは、「C-Zen Lounge（シーゼン ラウンジ）」コンセプトのもと、乗る人すべてを包み込むような快適性を追求。アドバンストコンフォートシートやマッサージ機能、シートヒーター、シートベンチレーションなど充実した機能により、長時間移動でもリラックスした状態を保ちます。

操作・視認の快適性

13 インチ縦型ウォーターフォールスクリーンにより、各種操作を直感的に集約。

ドライバーの認知負荷を軽減することで、車内全体にどこか穏やかさをもたらします。ヘッドアップディスプレイや LED マトリクスヘッドランプも搭載し、視認性と安心感を向上。運転に過度に意識を取られないこと。それもまた、“ふたり時間”に必要な快適性のひとつです。

安全性と快適性の融合

シトロエンで初めて採用された誤発進制御サポートにより、停車時・低速走行時に障害物を検知し、踏み間違いによる急発進を防止。他、アクティブクルーズコントロールやレーンポジショニングアシストなどの充実した運転支援機能が、日常のドライブに安心感をもたらし、移動を快適な時間に変えていきます。

リカバリードライブを、実際に楽しんでもらうために

さらに本キャンペーンでは、デザイントラベルガイド「d design travel」と共同で、リカバリードライブを楽しむためのプランもご用意しました。快適な「C5 AIRCROSS」を十分に楽しめるドライブルートと、協力して楽しめるようなアクティビティのある目的地を、特設ウェブサイトにて紹介しています。

本キャンペーンは、移動の快適性という観点だけでなく、人と人の時間の過ごし方に寄り添う取り組みとして展開しています。

シトロエンは今後も、あらゆる人に向けたコンフォートのあり方を探求していきます。

シトロエンについて

シトロエンは1919年の創業以来、「人々の生活をより良くする」という信念のもと、革新的なクルマづくりを続けてきました。

すべての活動の根底にあるのは、3つのコアバリューです。

- CARING – 人に寄り添うこと。快適さを追求し、移動の時間を心地よいものに。
- CLEVER – 賢くあること。本当に必要な機能を、直感的に使える形で届ける。
- CREATIVE – 創造的であること。常識にとらわれず、新しい価値を提案し続ける。

「C5 AIRCROSS」は、この3つのバリューを体現するフラッグシップモデルです。

「リカバリードライブ」という新しい提案もまた、シトロエンらしい Caring、Clever、Creative な発想から生まれました。

詳細は、以下 URL をご確認ください。

「リカバリードライブ」キャンペーン サイト：<https://web.citroen.jp/cpn/c5-aircross/>

以上

問い合わせ先（報道関係者）

Stellantis ジャパン株式会社 広報部

stellantis-japan-pr@stellantis.com（広報部代表）

メディアサイト：<https://www.stellantis.jp/>